



## STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009 推進ニュース

### —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

**取り組みを具体化し12月末までに500,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう！**

### 「介護110番」を実施 カかってきた電話の件数は89件！

「政治も変わって、言いたいことは我慢しないで、声に出していいのだ」（北海道）

介護の日の取り組みで、「介護110番」を実施しました。午前10時前から午後6時まで3本の回線が埋まっている時間が長く、これまでにない「盛況」な110番になりました。テレビでも取り組みが紹介され、かかってきた電話の件数は89件で、回線が埋まってからなかった電話もありましたが、41件の相談を受けました。本当に多かったです。

相談内容は、認知症を抱えたご家族からの相談が数多く見られました。また、「これから利用したいのだが・・・」という相談もこれまでになくなかったです。めずらしいところでは、「テレビを見ました。私はラジオパーソナリティですが、どんな相談が多いのですか？」「テレビで見ました。ので、電話してみました」「介護の日って、なんですか？」等の電話もありました。印象として、「政治も変わって、言いたいことは我慢しないで、声に出していいのだ」という国民全般にかかる意識の変化が、ここにも出たのではないかと思います。そう思えるほどの件数・相談時間の長さでした。

（2009年11月11日 北海道民医連事務局 橋晃弘さんより）

### 「介護110番」に寄せられた主な「相談内容」から……

（利用者）80歳過ぎの母が肺がんで入院。手術できないのでと、退院迫られる。

（利用者）85歳全盲 ヘルパー利用 ヘルパーかえると言われたが困る。後期高齢者の保険の手続きしなかったため、滞納にもなった。

（利用者）脊髄障害で肢体不自由（身障3級）で、要支援2から区分は変更できないか？

（利用者）76歳女性 A.D.L.は問題ないといわれるが納得できない。

（家族）80歳の父は末期がんで入院。要介護認定を受け航空割引使用したい。78歳の母は両膝の人工関節で身障1級、タクシ一代が無料にならないか？

（家族）71歳の母は、腎臓がんでオペしたが、その後受診しない。どうしたらよいか。市営住宅5階に住んでいるため相談したが、民間アパートへ移ってその後市営住宅へ申し込みといわれる。

（家族）親が有料老人ホームに入所中。併設する高齢者も部屋に入ってくる。施設側に要望をするが改善されない。

（家族）要支援1で区分変更中、認知症で悩んでいる。壁などに頭をぶつける。

（家族）特養に入れたが、地元の施設は100人待ちと言われ、車で片道3時間の施設に入所した。施設がたりない。

（職員）男性31歳 10月に2級ヘルパーを取得し、就職活動しているが、実務経験ないため採用されない。

（職員）ヘルパー2級をとり、これから働く。将来介護福祉士を受験したいが可能か？

（職員）施設に勤めていたが、いじめで退職。

（職員）事業所の不正請求などいい加減。申し出て無視され退職した。現在無職。

（その他）旭川でラジオのパーソナリティをしているが、身近で介護経験もある。ラジオで取り上げたいが事例はどこに問わせればよいか。

## 11月15日「介護・保育・障害者福祉制度の改善を求めて」宣伝行動！ 「一人では出来ない活動だから、今後もみんなを誘って参加したい」(宮城)



11月15日、宮城民医労、福祉保育労、宮城民医連、宮城厚生福祉会で構成している、福祉ウェーブ実行委員会主催の「介護・保育・障害者福祉制度の改善を求めて」フォーラス前宣伝を行いました。全体で85名が参加し、介護署名285筆、保育署名312筆、障害者自立支援法廃止署名48筆が集まりました。宣伝では、介護の現場から、ケアマネージャーとして大変な人に限って介護保険制度が活用できない現状などが紹介されました。

保育の現場からは、企業参入ではなく、公的保育制度の拡充を訴えました。障害者福祉の現場からは、障害者自立支援法廃止へ向けて運動が広がっていることを紹介しました。参加者から、「なかなか署名を書いてもらうことが出来なかつた。もっとみんな福祉に目を向けてほしい」「保育の人が頑張っていてすごかつた。こういう活動は大事だと思った。自分に直結してくると思っているが、通り過ぎてしまう人がほとんどで残念。とてもいい活動なのだから、分かりやすいように出来ないか、今後工夫していきたい」「一人では出来ない活動だから、今後もみんなを誘って参加したい」「宣伝は何度もやっているが、こんなに大人数での宣伝は初めてで、すごいと思った」等の感想が出されました。

総選挙で政権が変わり、介護職員の賃金を4万円上げるという政権を打ち出していますが、実施されるかは不明です。障害者自立支援法でも、廃止すると言っていますが、時期が不明となっています。今、こうした要求を実現するために、声を出すことが重要な時期です。福祉制度の改善を求めて、今後も力を合わせていきましょう。

(2009年11月17日 福祉ウェーブ実行委員会第2回ニュースより)



## 熊本民医連全院所で総勢43名の職員が参加し、宣伝行動！ 地域や利用者から意見を聞くことの重要性を感じました(熊本)



「介護の日」に、介護ウェーブ推進委員会の呼びかけで、熊本民医連全院所で総勢43名の職員が参加し、宣伝行動が行われ、全体で544筆の署名が集まりました。

平和クリニックでは、介護保険問題について、外来・事務・通所介護の職員がハンドマイクで訴えました。くわづみグループでは、熊本市役所高齢介護福祉課の職員が通りかかり、署名をお願いしたら「大変ですね。頑張ってください」と言われ、快く署名をしてくれました。天草ふれあいクリニックでは、「保険料ばかり取られて利用できない。数年先は自分も利用するかもしれないのに、改善してほしい」と、要望が寄せられました。水俣グループでは、「取られる者は取られるが、サービスはない」「家での介護は大変だった。次は自分の番だ・・・」等、不満や不安の声が多数寄せられました。介護保険制度の改善のため、地域や利用者から意見を聞くことの重要性を感じました。(くまもと介護ウェーブニュース 2009年11月17日号 No.22より)

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp